


リモートコントローラー
WTP0型

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用前にこの「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、「 警告」に区分しています。

 警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が予想される場合。

 警 告

- 1) 分解や改造、修理等を行わないでください。
リモコン内部を手で触れると故障や感電、火災の原因になります。
- 2) 濡れた手でリモコンを操作しないでください。
感電の原因になります。
- 3) 異常時(焦げ臭いなど)は、運転を停止してください。
異常のまま運転を続けると故障や感電、火災などの原因になります。
サービス店へ連絡してください。
- 4) リモコンを移設する際はサービス店へ依頼してください。
据付けに不備があると、感電や火災の原因になります。

リモートコントローラーインストールクション

概要

リモートコントローラー(WTP0型)は、機械室から離れた場所(最大3ヶ所)からボイラー・ヒーターの運転操作や運転状態監視・運転温度の設定・低温運転・手動抽気の開始・解除はもちろんのこと、運転予約スケジュール運転、台数制御運転など数多くの機能を持つ多機能リモコンです。

機能

1. 運転状態表示

正常運転時には水位の状態・火炎の有無・設定温度・缶水温度・各回路の出湯温度などをカラー液晶画面に表示します。また、万一の異常発生時には異常の内容をエラーコード表示・アラーム表示を行うと共にブザーによる警報を発します。

2. 遠方運転機能

ボイラー・ヒーター運転のON-OFFはもちろんのこと、低温運転・手動抽気のON-OFFの他、運転温度の設定値変更などが遠方から簡単な操作で行えます。

リモートコントロール機能については、「労働安全衛生法施工令」第1条3項の掲げるボイラーには使用できませんので御注意ください。

3. 運転予約タイマー機能

1週間に3つのパターンの運転予約が行えます。たとえば、「月曜日から金曜日までを7時30分から15時30分まで運転し、土曜日は8時45分から13時45分まで運転する。日曜日は運転しない。」などの運転予約が簡単に設定できます。

4. 必要に応じて最大3ヶ所に設置できます。

遠方運転操作および監視を異なる場所から行いたい場合には、最大3ヶ所に設置してお使い頂くことも可能です。

5. 時計機能

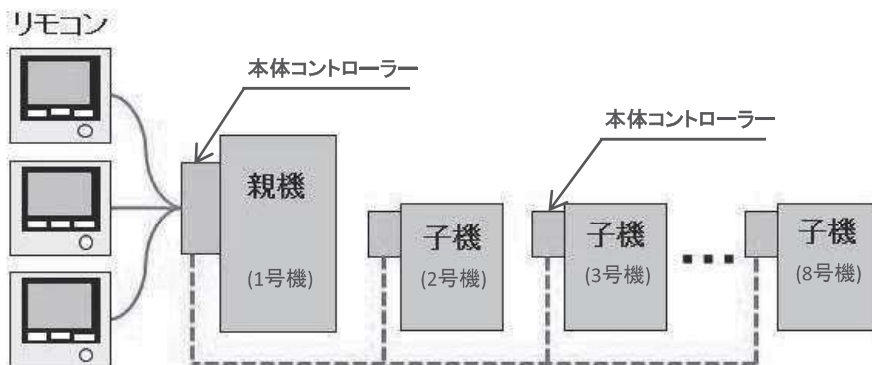
常に現在時刻を表示します。

仕様

項目	仕様
許容周囲温度・湿度	-5～40℃(保存温度 -20～60℃) +40℃において最高90%RH
伝送距離及び配線種類	伝送距離：100m(最大)以下 配線種類：0.75sq VCT(ビニルキャブタイヤケーブル) 強電系の配線とは分離してください。
表示部	カラー液晶タッチパネル(72×54mm)、LED
接続台数	リモコン1台で最大8台をコントロール可能
表示可能内容	現在時間・水位・燃焼・低温運転・アラーム・不着火・手動抽気 運転予約時間・設定温度・缶水温度・第1回路温度・第2回路温度 第3回路温度・第4回路温度 異常エラーコード・エラー内容
警報	異常時画面が赤色表示、電子ブザー作動
ケース色	白色
電源	本体コントローラーより電源供給
重量	約220 g
寸法	長さ120mm×幅120mm×厚さ20mm
取付姿勢	水平または垂直取付
付属品明細	ベースプレート————— 1個， 圧着端子————— 2個 M4×25 なべ小ネジ———— 2個， 木ネジプラグ————— 2個 呼び3.8×20 木ネジ———— 2個， M4小型丸平座金————— 2個

リモコンと本体機器(親機・子機)について

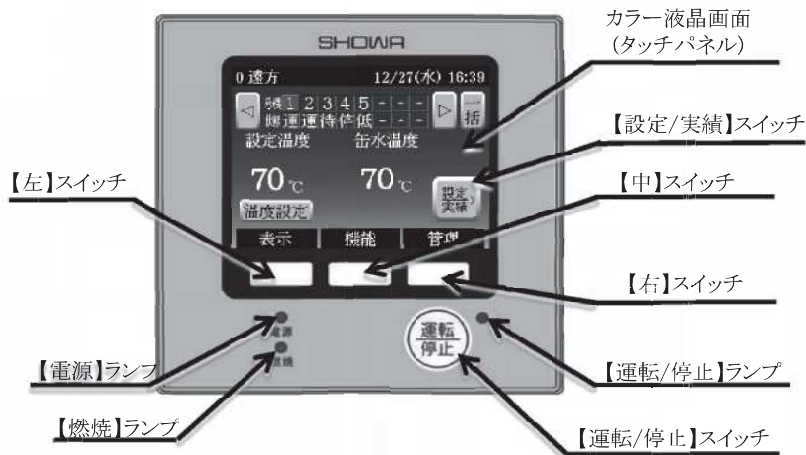
- ・リモコン:リモートコントローラーWTP0型。本体機器(ボイラーまたはヒーター)を離れた場所で操作できます。
- ・親機:リモコンが接続されている本体機器(ボイラーまたはヒーター)。
- ・子機:親機に接続されている本体機器(ボイラーまたはヒーター)。
- ・本体コントローラー:本体機器(ボイラーまたはヒーター)を制御しているコントローラー。



〔リモコンは最大3箇所まで取付可能〕〔本体機器(ボイラーまたはヒーター)を最大8台までコントロール可能〕

※ボイラー用、真空ヒーター用、無圧ヒーター用のコントローラーを混在して使用(接続)することはできません。

リモコン各部の名前



各種ランプの状態表示

【電源ランプ】

- 1) 各号機を個別で選択した場合(6ページ参照)
 - ① 本体コントローラーの運転/停止スイッチを1度もONしていない場合、リモコンの電源ランプは消灯します
 - ② 本体コントローラーの運転/停止スイッチを1度ONした場合、リモコンの電源ランプは点灯します。
(本体コントローラーの運転/停止スイッチON後はOFFにしてもリモコンの電源ランプは点灯します。)
- 2) 各号機を一括で選択した場合(6ページ参照)
 - ① 全号機の本体コントローラーを1度もONしていない場合、リモコンの電源ランプは消灯します。
 - ② 本体コントローラーを1度ONした/1度もONしていない号機が混在している場合、リモコンの電源ランプは点滅します。
 - ③ 全号機の本体コントローラーを1度ONした場合、リモコンの電源ランプは点灯します。

各号機を選択方法	リモコンの電源ランプ	本体コントローラーの運転/停止スイッチの状態
個別で選択している場合	消灯	1度もONしていない
	点灯	1度ONした
一括で選択している場合	消灯	全号機が1度もONしていない
	点滅	1度ONした/1度もONしていない号機が混在
	点灯	全号機が1度ONした

【運転/停止ランプ】

- 1) 各号機を個別で選択した場合(6ページ参照)
 - ① リモコンの運転/停止スイッチがOFFの場合、リモコンの運転/停止ランプは消灯します。
 - ② リモコンの運転/停止スイッチがONの場合、リモコンの運転/停止ランプは点灯します。
- 2) 各号機を一括で選択した場合(6ページ参照)
 - ① 全号機のリモコンの運転/停止スイッチがOFFの場合、リモコンの運転/停止ランプは消灯します。
 - ② リモコンの運転/停止スイッチがON/OFF混在している場合、リモコンの運転/停止ランプは点滅します。
 - ③ 全号機のリモコンの運転/停止スイッチがONの場合、リモコンの運転/停止ランプは点灯します。

各号機を選択方法	リモコンの運転/停止ランプ	リモコンの運転/停止スイッチの状態
個別で選択している場合	消灯	OFF
	点灯	ON
一括で選択している場合	消灯	全号機がOFF
	点滅	ON/OFFが混在
	点灯	全号機がON

※リモコンの運転/停止スイッチをON-OFFすると運転/停止ランプは消灯/点滅/点灯しますが、本体コントローラーの運転/停止スイッチがOFFの場合は本体機器は運転されませんのでご注意ください。(5ページ参照)

【燃焼ランプ】

- バーナーが運転(燃焼)中に点灯し、待機もしくは停止中に消灯します。
各号機を一括で選択し、燃焼/待機もしくは停止が混在している場合、リモコンの燃焼ランプは点滅します。

日常の取扱い(運転と停止)

本体コントローラーおよびリモコンの両方がONの状態では本体機器が運転し、どちらかがOFFの状態では運転されません。

【運転準備】

- 1) 本体機器に電源が供給されていない状態では、本体コントローラーの電源ランプが消灯しています。この場合、電源を入れてください。電源を入れると本体コントローラーの電源ランプが点滅に変わります。
- 2) 本体コントローラーの運転/停止スイッチを押してください。本体コントローラーの電源ランプは点灯に変わり、リモコンの電源ランプも点灯に変わります。以後はリモコンの運転/停止スイッチにより、運転のON-OFFができます。

【運転】

運転を開始する場合は、リモコンの運転/停止スイッチを押してください。リモコンの運転ランプが消灯から点灯又は点滅に変わり^{*}、運転が開始します。(以後は本体の温度状況により燃焼を開始します。)

※各号機を一括で選択している場合(6ページ参照)、全号機が運転ONの状態ではリモコンの運転ランプが点灯します。運転ON・OFFが混在している場合のリモコンの運転ランプは点滅します。

<リモコンの状態表示について>

リモコンの運転/停止スイッチONで運転ランプ点灯と同時に、各号機の状態表示が、「リ」(リモコン待機中)から「運」(本体運転状態)に変わり、運転を開始します。(状態表示については6ページ

【表示と状態の意味について】参照)

本体コントローラーの運転/停止スイッチが押されずに、リモコンの状態表示が「停」(本体停止状態)になっている場合は、リモコンの運転/停止スイッチを押しても(リモコン運転ランプ点灯状態でも)運転は開始されませんので、この場合は本体コントローラー側を操作してください。

また、スケジュール運転や台数制御などにより待機中の場合も運転は開始されませんので、リモコンの状態表示を確認してください。

【停止】

停止する場合もリモコンの運転/停止スイッチを押すとリモコン待機状態となり機器の運転が停止します。

(本体コントローラーの運転/停止スイッチでも停止は可能です。運転を再開する場合は、再度運転/停止スイッチを押してください。)

【電源を入れる際のご注意】

子機の電源(ブレーカー等)を切った場合、または停電等で電源が切れた場合、運転再開時は以下の順番で電源を入れてください。

- 1) 子機の電源を入れる(先に電源を入れる)
- 2) 親機の電源を入れる(子機の後電源を入れる)

※親機の電源が入っている場合は電源を切った後、電源を入れてください。

(子機の電源が一度切れるとリモコンは子機との通信が遮断され、子機電源を入れただけでは通信ができません。子機の後親機電源を入れることで、通信可能となります。)

【各号機を選択】

- 各号機を個別で選択する場合
遠方画面において ◀ または ▶ を押すと、設定を変更する号機を個別に選択できます。



- 各号機を一括で選択する場合

一括 を押すと、全号機を一括で選択できます。設定温度の変更や運転/停止の切替を一括で操作できます。(一括を選択した場合、設定温度と缶水温度は直前に表示していた号機のものを表示します)



【各号機の状態表示】

- 各号機の状態を表示します。選択中の号機は表示が浮き上がった状態になります。



！ 注意 ！

各号機で運転と停止が混在している場合に、一括で運転/停止スイッチを押すと、運転と停止が反転します。(運転中の機器は停止し、停止中の機器は運転しますのでご注意願います。)

【表示と状態の意味について】

表示			状態
文字	文字色	背景色	
運	白	青 (異常:赤)	運転(燃烧待機)
運	黄		運転(燃烧)
低	白		低温運転(燃烧待機)
低	黄		低温運転(燃烧)
停	白	赤	停止
-			通信なし
異		異常停止	
ユ		ユーザインタロック待機	
真		真空スイッチ作動	
リ		リモコン待機	
遠		遠方運転待機	
台		台数制御待機	
ス		スケジュール待機	

【主設定温度設定】

- 1) 遠方画面(設定温度と缶水温度が表示している状態)で、**温度設定**を押してください。



- 2) **▽** 又は **△** を数回押して希望の温度に変更します。



- 3) 変更が終わりましたら、**決定**を押してください。設定温度が確定され、トップ画面に戻ります。



- ※ 一括を選択し、同様の操作をすることで全号機の主設定温度が変更できます。(6ページ参照)

【各回路温度の表示】(真空ヒーターのみの機能)

※一括選択時は各回路温度の表示はできません。

- 1) 遠方画面(設定温度と缶水温度が表示している状態)で、**【左】スイッチ(表示)**を押してください。



- 2) 各回路の温度が表示されます。**【左】スイッチ(戻る)**を押すと、設定温度と缶水温度の表示画面に戻ります。



【出湯温度の表示・設定】(無圧ヒーターでインバーター制御時のみの機能)

※一括選択時は出湯温度の表示・設定はできません。

- 1) 遠方画面(設定温度と缶水温度が表示している状態)で、【左】スイッチ(表示)を押してください。



- 2) 各回路の温度が表示されます。設定温度を変更する回路の温度を押し、 ∇ 又は Δ を押して温度を変更できます。(主温度設定値より10°C以上低い温度で設定してください)



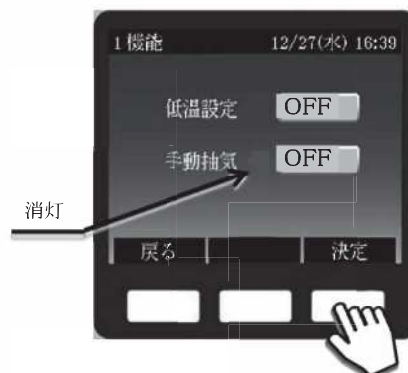
【手動抽気の方法】(真空ヒーターのみの機能)

※一括選択時は手動抽気は操作はできません。

- 1) 【中】スイッチ(機能)を押してください。



- 4) 手動抽気を停止する場合は、ON を押してください。OFF に変わります。
【右】スイッチ(決定)を押すと緑のランプが消灯し、手動抽気が停止します。

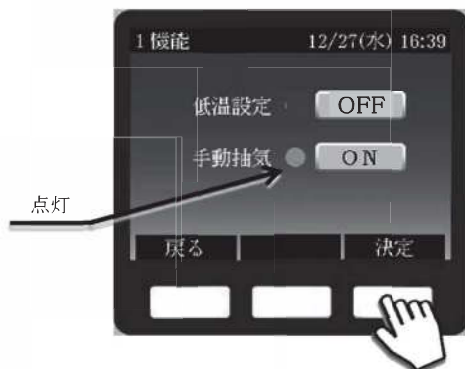


- 2) 手動抽気 OFF を押してください。ON の表示に変わります。



- 5) 設定温度と缶水温度の表示画面に戻る場合は、【左】スイッチ(戻る)を押してください。(操作しない場合でもしばらくすると自動的に戻ります。)

- 3) 【右】スイッチ(決定)を押すと、緑のランプが点灯し、手動抽気を開始します。



※ 手動抽気が1時間経過すると自動的に解除されます。

【低温運転の方法】

※一括選択時は低温運転の操作はできません。

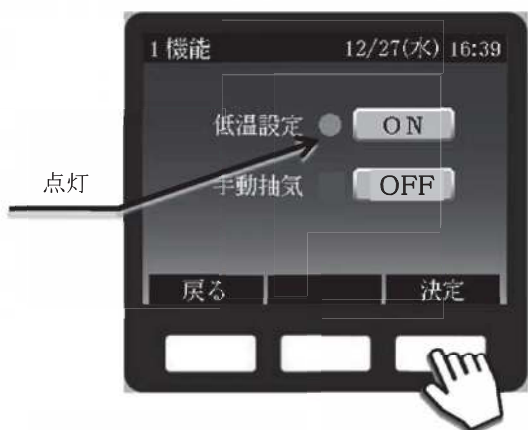
1)【中】スイッチ(機能)を押してください。



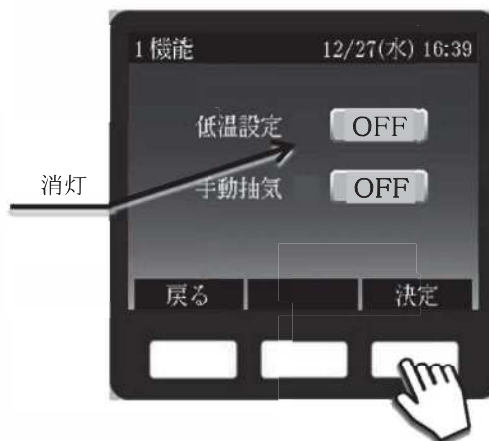
2) 低温設定 **OFF** を押してください。
ON の表示に変わります。



3)【右】スイッチ(決定)を押すと、緑のランプが点灯し、低温運転を開始します。



4) 低温運転を解除するためには、**ON** を押してください。**OFF** に変わります。
【右】スイッチ(決定)を押すと、緑のランプが消灯し、低温運転が解除されます。

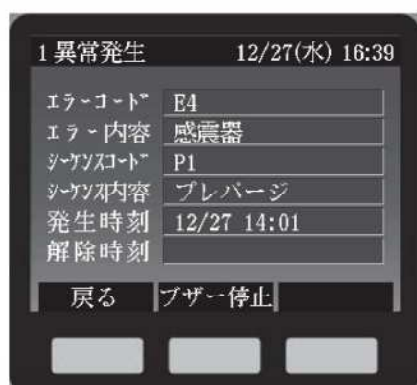


5) 設定温度と缶水温度の表示画面に戻る場合は、【左】スイッチ(戻る)を押してください。(操作しない場合でもしばらくすると自動的に戻ります。)



【異常発生時の表示および警報ブザーの停止】

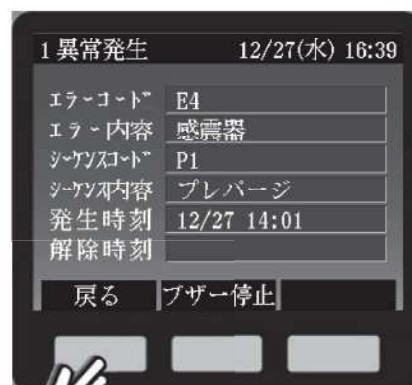
- 1) 異常発生時は、異常発生画面へ移行し、画面は赤色となりブザーが鳴動します。



- 2) 異常が発生している機器のエラー内容、シーケンス内容、発生時刻等が表示されます。警報ブザーを停止する際は、【中】スイッチ(ブザー停止)を押してください。



- 3) 設定温度と缶水温度の表示画面に戻る場合は、【左】スイッチ(戻る)を押してください。



異常が発生している号機の状態は『異』の黄色表示となります。

- 異常が発生している機器本体の異常が解除されると、ブザーが停止して遠方画面(画面が青色)に戻ります。
- 異常発生時の処置については、本体の取扱説明書をご参照願います。

【停電のとき】

本体の電源(ブレーカー等)を切り、通電されるまで待ってください。通電後、運転を再開するためには、電源を入れて※本体コントローラーの運転/停止スイッチを押して下さい。

※電源を入れる際は、5ページ【電源を入れる際のご注意】をご参照ください。

その後、リモコンの運転/停止スイッチを押すと運転が開始します。

尚、1秒以下の短い停電の場合には、次の様な動作を行います。

- 1) 0.06秒未満の停電の場合
そのまま運転を継続します。
- 2) 0.06～1秒の停電の場合
初期動作から運転を再開します。(運転/停止スイッチを押す必要はありません)

【時刻設定】

時刻は本体コントローラーと接続することにより表示しますので、新たに設定する必要はありません。(本体コントローラーの時刻をあらかじめ設定しておく必要があります。)

※1. 2週間以上通電がないと時刻設定がリセットされるため、時刻の再設定が必要となります。

※2. 機器を複数台設置してスケジュール運転を行う際は子機の時刻設定も必要となります。

【スケジュール運転の設定】

運転予約は、1週間に3つのパターン(スケジュール1・スケジュール2・スケジュール3)までセットすることができます。セットする内容は運転を行う曜日・運転開始時刻・運転終了時刻の3項目です。例として、月曜・火曜・水曜・木曜・金曜を9:00から21:00まで運転し、土曜日を9:00から18:30まで運転する場合の予約セット方法を示します。

『1号機のスケジュール1の運転曜日・運転開始時刻・運転終了時刻のセット方法』

1) 【右】スイッチ(管理)を押してください。



2) スケジュール運転 を押してください。



3) スケジュール1 を押してください。



4) 曜日を選択して運転または休止を設定して下さい。日曜日を休止する場合は ◀ または ▶ を押して、日曜日を選択します。(選択中の曜日は運(運転)/休(休止)の表示が浮き上がった状態になります。



- 5) **休止** を選択します。
『日』の下が休(休止)と表示されます。



- 6) 次に月曜日を**運転**を選択します。



- 7) **運転時間** を選択します。



- 8) 開始時刻を設定します。
時刻設定スイッチを押すとテンキー画面が表示されます。



- 9) 数字を入力し、【右】スイッチ(決定)を押してください。



- 10) 開始時刻を入力したら、【右】スイッチ(決定)を押してください。



- 11) 終了時刻を入力し、【右】スイッチ(決定)を押してください。



- 12) 運転時間を設定しましたら、【右】スイッチ(決定)を押してください。



- 13) ◀ または ▶ を押して、火曜日～金曜日を運転に設定します。設定方法は(6)と同様です。



- 14) OFF を押して ON へ表示を切替えてください。



- 15) スケジュール設定が終わりましたら、【右】スイッチ(決定)を押してください。



- 16) 緑のランプが点灯し、スケジュール1が設定されます。



- ※ 14) の画面で OFF の状態で決定すると緑のランプは点灯しません。(スケジュール運転は設定されません。)

17) **スケジュール2** を押してください。



18) **運転時間** を選択します。



19) 開始時刻を設定します。
時刻設定スイッチを押すとテンキー画面が表示されます。



20) 数字を入力し、【右】スイッチ(決定)を押してください。



21) 開始時刻を入力したら、【右】スイッチ(決定)を押してください。



22) 終了時刻を入力し、【右】スイッチ(決定)を押してください。



- 23) 運転時間を設定しましたら、【右】スイッチ(決定)を押してください。



- 24) ◀ または ▶ を押して曜日を運転に設定します。設定方法は(6)と同様です。



- 25) OFF を押して ON へ表示を切替えてください。



- 26) スケジュール設定が終わりましたら、【右】スイッチ(決定)を押してください。



- 27) 緑のランプが点灯し、スケジュール2が設定されます。



- ※1. 25) の画面で OFF の状態で決定すると緑のランプは点灯しません。(スケジュール運転は設定されません。)

- ※2. 一括を選択しスケジュール設定をした場合、全号機が同じスケジュール設定になります。




【スケジュール運転の動作】

設定が重複した場合は、設定を併合して運転を行います。（“運転”設定が優先されます）
 運転開始時間＞運転終了時間 の場合は、日をまたいで運転を行います。

・スケジュール運転動作例

設定項目	スケジュール1	スケジュール2	スケジュール3
日	休	休	運
月	運	休	休
火	運	休	休
水	運	休	休
木	運	休	休
金	運	休	休
土	休	運	休
運転開始時間	6:00	8:00	23:00
運転終了時間	20:00	12:00	7:00
設定適用	ON	ON	ON


 スケジュールごとの設定時間
 機器の運転動作

日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
スケジュール1																								
スケジュール2																								
スケジュール3																								
運転動作																								
月	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
スケジュール1																								
スケジュール2																								
スケジュール3																								
運転動作																								
火	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
スケジュール1																								
スケジュール2																								
スケジュール3																								
運転動作																								
水	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
スケジュール1																								
スケジュール2																								
スケジュール3																								
運転動作																								
木	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
スケジュール1																								
スケジュール2																								
スケジュール3																								
運転動作																								
金	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
スケジュール1																								
スケジュール2																								
スケジュール3																								
運転動作																								
土	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
スケジュール1																								
スケジュール2																								
スケジュール3																								
運転動作																								

台数制御機能

ボイラーまたはヒーター本体が台数制御機能付きの場合※1、リモコンの台数制御設定により、本体の運転台数を制御できます。(別途本体に端子ボックスが必要となります。)
制御対象の温度または貯湯量の現在値が、設定値に近づくと運転台数が減少していきます。(現在値が設定値付近まで到達しても、1台は常に運転状態となります。)

※台数制御機能はオプションとなります。台数制御機能がない場合、以下のリモコン設定を行っても台数制御機能は使用できません。また、制御対象によって設定が異なりますので、製品の仕様をご確認願います。

【台数制御設定の有効化】

親機のメンテナンスモードからパラメータ設定に入り、パラメータ『A4-3A』を『0(無効)』から『1(有効)』に変更してください。遠方リモコンの管理画面に台数制御運転スイッチが表示されるようになります。
(パラメータ設定については、P23. (1)~(4)を参照ください。)

【制御対象・設定値の操作】

1) 【右】スイッチ(管理)を押してください。



2) 台数制御運転 を押してください。
(台数制御機能がない場合は表示されません。)



3) 制御対象(温度・貯湯量)のいずれかを選択してください。
『台数制御設定』画面へ移行します。



注) 制御対象によって設定が異なりますので、仕様をご確認願います。
(温度、貯湯量)

(次ページへ続く)

- 4) 設定値を入力します。
設定値スイッチを押すとテンキー画面が表示されますので、目的の温度または貯湯量を入力して、【右】スイッチ（決定）を押してください。



- 5) 『台数制御設定』画面で再度【右】スイッチ（決定）を押しててください。
設定値が確定されます。



【優先順位設定】

台数制御時に優先的に運転する号機を設定します。(現在値が設定値に近づくと優先順位が低い号機が順に停止します。)

また、優先順位は自動または手動設定でローテーションすることができます。

- 1) 『台数制御設定』画面で
優先順位設定 を押してください。



- 2) ローテ を押すと、優先順位のローテーション周期を設定する画面へ移行します。



- 3) ローテーションする周期を設定します。周期は日数ごと、曜日ごと、月数ごとで設定可能です。15日間ごとにローテーションする場合、「日数」スイッチを押してください。横の緑ランプが点灯します。また、数字のスイッチを押すとテンキー画面に移行します。



- 4) "15"(日数)を入力し、【右】スイッチ(決定)を押してください。



- 5) ローテーションで切り替わる時刻を設定します。ローテーション時刻の数字を押すと、テンキー画面が表示されますので、(4)と同様に操作してください。



- 6) 【右】スイッチ(決定)を押してください。設定値が確定されます。



- 7) 【左】スイッチ(戻る)を押してください。
『優先順位設定』画面に戻ります。



- 8) 優先順位を自動または手動から選択します。自動の場合、1号機から順に優先する号機をローテーションします。



- 9) 手動の場合は優先順位を4パターンまで設定でき、設定パターン①～④がローテーションします。順位の下の号機番号を押すと数字が1つ繰り上がります。1号機を第1優先にする場合、順位:1の下の号機番号を"1"にしてください。



注. 各設定パターン内で号機番号が重複した場合、設定されていない他号機は運転しません。全ての号機を運転する場合は番号が重複しないようご注意ください。

- 10) 設定の入力が終わったら、【右】スイッチ(決定)を押してください。設定が確定されます。



- 11) 【左】スイッチ(戻る)を押してください。
『台数制御設定』の画面に戻ります。

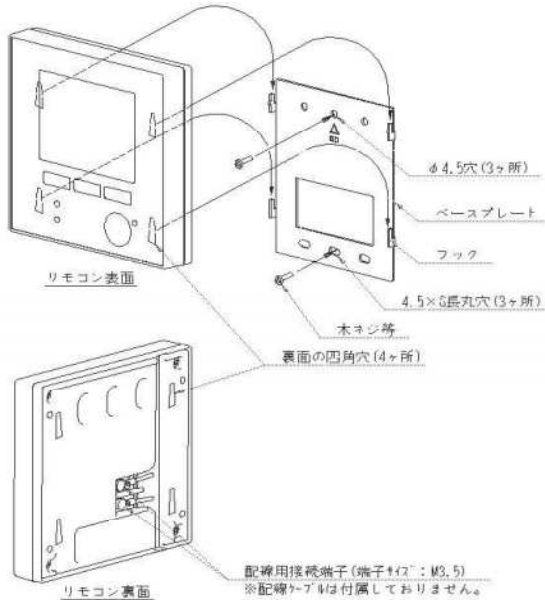


設定値確定後は、【左】スイッチ(戻る)によりトップ画面に戻って下さい。
(操作しない場合でもしばらくすると自動的に戻ります。)

施工・試運転（専門のサービスマンの方へ）

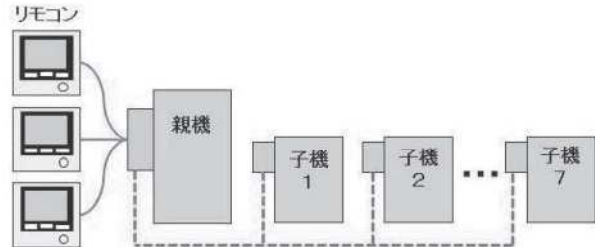
取付方法

- リモコンを設置する壁面にベースプレート（金属製）を取り付けてください。
- ベースプレートのフックに、リモコン裏面の四角穴（4ヶ所）を引っかけるようにして下にずらして取り付けてください。



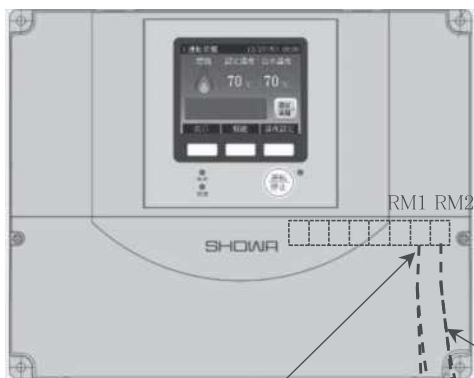
接続イメージ

- 親機と子機の接続および初期設定方法は21, 25～26ページを参照ください。
(子機の通信アドレス設定が必要です。)



配線方法

ボイラー・ヒーター
コントローラー



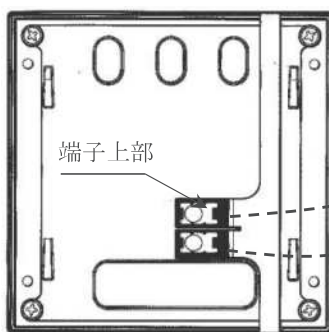
コントローラー内端子
RM1, RM2

現地配線(供給外)
配線距離MAX100m

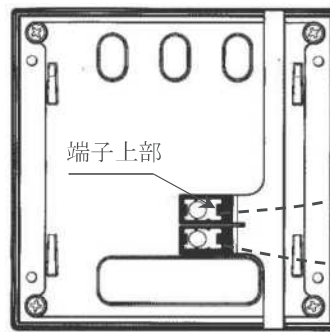
- コントローラー側の配線作業をする際は、中央部の2本の取付ネジをゆるめてカバーを取り外します。右上の端子台の記号 RM1・RM2 にリモコンからの線（2本）を接続します。

- リモコンを2もしくは3箇所を設置する場合は、コントローラー内端子記号 RM1・RM2 にリモコンからの各々の線を接続してください。
(リモコンの端子上部に RM1 を接続してください。)

- 電気器具、強電系の配線、動力線、ラジオ・テレビ等の電波関連、及びそのアンテナ線（フィーダ、同軸等）、その他ノイズとなる機器からは十分離して配線してください。
ノイズによって誤動作する原因になります。



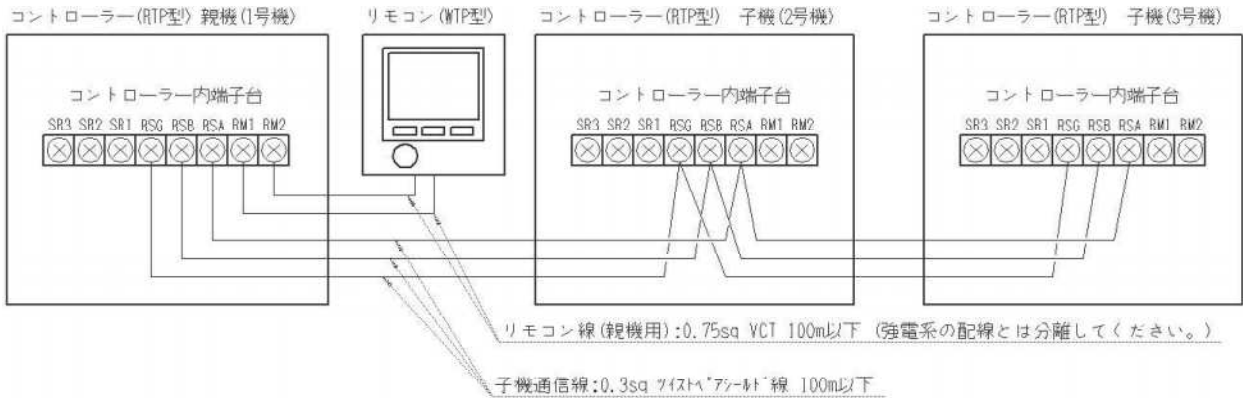
リモコン裏面



リモコン裏面(複数台設置の場合)

子機接続時の配線・通信アドレス設定

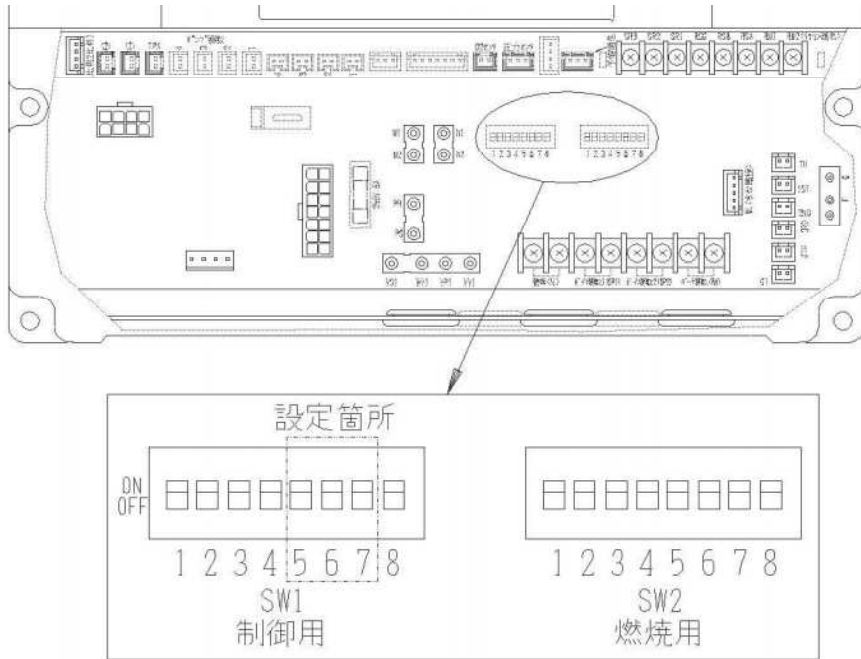
【配線方法】



- 親機のコントローラー取付ネジをゆるめてカバーを取り外し、右上の端子台のRM1・RM2にリモコンからの線（2本）を接続します。（詳細は20ページの配線方法を参照ください。）
- 子機（2号機）のコントローラー取付ネジをゆるめてカバーを取り外し、右上の端子台のRSA, RSB, RSGより親機の端子台RSA, RSB, RSGへリモコン線（子機用）を接続します。

【通信アドレス設定】

- 下図のSW1（制御用）を下表を参照のうえ設定してください。



SW1（制御用）通信アドレス設定表

号機	機能	No. 5	No. 6	No. 7
1	親機	OFF	OFF	OFF
2	子機1	ON	OFF	OFF
3	子機2	OFF	ON	OFF
4	子機3	ON	ON	OFF
5	子機4	OFF	OFF	ON
6	子機5	ON	OFF	ON
7	子機6	OFF	ON	ON
8	子機7	ON	ON	ON

ボイラーまたはヒーター本体のコントローラー初期設定(リモコンを設置する場合)

リモコンを設置する場合は、リモコンの接続台数を本体コントローラーで設定する必要があります。以下の手順で設定してください。

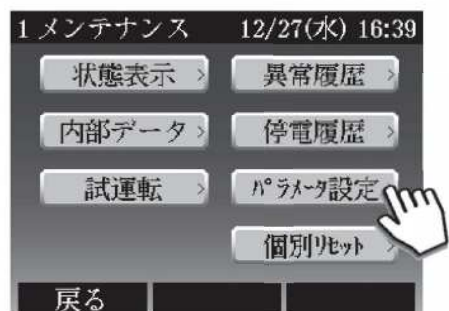
- 1) 本体コントローラーの **設定/実績** を押してください。



- 2) 設定・実績画面が立ち上がりますので **運転実績** 横のスイッチを10秒間押ししてください。



- 3) メンテナンス画面が立ち上がりますので **パラメータ設定** を押してください。



- 4) パラメータ画面が立ち上がりますので "A"の隣のスイッチを押してください。



- 5) 数字入力画面が立ち上がりますので 5を入力し、【右】スイッチ(決定)を押してください。



- 6) パラメータ画面に戻りますので "-"の横のスイッチを押してください。5)の画面になりますので6を入力し、【右】スイッチ(決定)を押してください。



- 7) パラメータ画面に戻りパラメータ "A5-06"リモコン接続数設定画面になります。":"隣のスイッチを押してください。5)の画面になりますのでリモコン接続台数を入力し、【右】スイッチ(決定)を押してください。



- 8) 【右】スイッチ(決定)を押すと、リモコン接続台数設定画面に戻り：“隣の数字が入力した数字となり、黄色で表示されますので再度【右】スイッチ(決定)を押してください。数字が白色になり、変更が確定されます。



- 9) 数字が白色になり変更が確定した後に、ボイラーまたはヒーター本体の電源(元ブレーカー等)を一度切ってください。
その後、30秒以上経過して電源を再投入してください。
※この電源(切-入)操作によりリモコン接続数の設定が有効になります。

リモコン初期設定(リモコン複数台設置の場合)

リモコンを複数台設置する場合は、各リモコンのコントローラーIDを設定する必要があります。以下の手順で設定してください。

※この設定は、22ページの本体コントローラーのリモコン接続台数の設定後に実施する必要があります。

- 1) 本体コントローラーとリモコンを接続し、リモコンの【中】スイッチを押したまま電源を投入してください。



- 2) 基本設定画面が立ち上がりますので **ControllerID** で【中】スイッチ(DOWN)と【右】スイッチ(UP)で設定を変更します。



- 3) Remote1→Remote2→Remote3→Directと切替りますのでリモコンのコントローラーIDを設定してください。(Directには設定しないでください。)

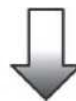


リモコン1台目	Remote1
リモコン2台目	Remote2
リモコン3台目	Remote3
Direct	設定しないこと

- 4) 【左】スイッチ(SELECT MENU)を押して、**COMMIT & REBOOT (PowerSW)** を選択してください。



- 5) **COMMIT & REBOOT (PowerSW)** 選択中に【運転/停止】スイッチを押すと設定を確定し、画面を再起動します。



ボイラーまたはヒーター本体のコントローラー初期設定(子機を接続する場合)

子機を接続する場合は、親機の本体コントローラーにて以下の初期設定を実施してください。

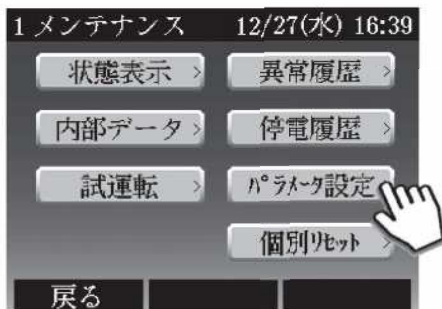
- 1) 本体コントローラーの **設定/実績** を押してください。



- 2) 設定・実績画面が立ち上がりますので **運転実績** 横のスイッチを長押ししてください。



- 3) メンテナンス画面が立ち上がりますので **パラメータ設定** を押してください。



- 4) パラメータ画面が立ち上がりますので "A"の隣のスイッチを押してください。



- 5) 数字入力画面が立ち上がりますので 5を入力し、【右】スイッチ(決定)を押してください。



- 6) パラメータ画面に戻りますので "-"の横のスイッチを押してください。5)の画面になりますので5を入力し、【右】スイッチ(決定)を押してください。



- 7) パラメータ画面に戻りパラメータ "A5-05"子機接続数設定画面になります。":"隣のスイッチを押してください。5)の画面になりますので子機接続数を入力し、【右】スイッチ(決定)を押してください。



- 8) 【右】スイッチ(決定)を押すと、子機接続数設定画面に戻り、横の数字が入力した数字となり、黄色で表示されますので再度【右】スイッチ(決定)を押してください。数字が白色になり、変更が確定されます。



- 9) 変更確定後は【左】スイッチ(戻る)によりトップ画面に戻ってください。



昭和三井工業株式会社

■製造元

- 本社 〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町宇美3351-8
TEL：(092)933-6390/FAX：(092)933-6395

■販売部門

- 東京支店 〒210-0806 川崎市川崎区中島二丁目2-7
TEL：(044)244-9723/FAX：(044)244-9727
- 大阪支店 〒550-0011 大阪市西区阿波座二丁目2-18
TEL：(06)6578-2411/FAX：(06)6578-2413
- 九州支店 〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町宇美3351-8
TEL：(092)933-6304/FAX：(092)933-6319
- 札幌営業所 〒061-3244 北海道石狩市新港南一丁目22-37
TEL：(0133)64-3676/FAX：(0133)64-2369
- 仙台営業所 〒982-0012 仙台市太白区長町南四丁目1-20
TEL：(022)246-7401/FAX：(022)246-7404
- 北関東営業所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町三丁目537-1
TEL：(048)660-3781/FAX：(048)660-3782
- 名古屋営業所 〒461-0005 名古屋市東区東桜一丁目9-29
TEL：(052)961-1733/FAX：(052)951-0339
- 広島営業所 〒732-0057 広島市東区二葉の里一丁目1-72
TEL：(082)264-2155/FAX：(082)264-2156
- 南九州営業所 〒862-0913 熊本市東区尾ノ上二丁目28-4
TEL：(096)331-5560/FAX：(096)331-5565

■サービス部門 機器の保守点検整備等についてのご相談、異常時には下記へ連絡ください。

- 東京支店 〒210-0806 川崎市川崎区中島二丁目2-7
TEL：(044)244-9722/FAX：(044)244-9725
- 大阪支店 〒550-0011 大阪市西区阿波座二丁目2-18
TEL：(06)6578-2412/FAX：(06)6578-2413
- 九州支店 〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町宇美3351-8
TEL：(092)933-6333/FAX：(092)933-6374
- 札幌営業所 〒061-3244 北海道石狩市新港南一丁目22-37
TEL：(0133)64-3676/FAX：(0133)64-2369
- 仙台営業所 〒982-0012 仙台市太白区長町南四丁目1-20
TEL：(022)246-7403/FAX：(022)246-7404
- 北関東営業所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町三丁目537-1
TEL：(048)660-3781/FAX：(048)660-3782
- 名古屋営業所 〒461-0005 名古屋市東区東桜一丁目9-29
TEL：(052)961-1735/FAX：(052)951-0339
- 広島営業所 〒732-0057 広島市東区二葉の里一丁目1-72
TEL：(082)264-2155/FAX：(082)264-2156
- 南九州営業所 〒862-0913 熊本市東区尾ノ上二丁目28-4
TEL：(096)331-5560/FAX：(096)331-5565

サービス店